2027年度

東京音楽大学大学院

音楽研究科修士課程

研究生

募集要項

目　次

Ⅰ　研究生概要 1

１　研究生について 1
２　在籍期間 1
３　受講可能な科目 1
４　担当教員 1

Ⅱ　試験概要 2

１　募集人員 2
２　出願資格 2
３　日程一覧 4
４　試験場 4
５　選抜方法 4
６　出願手続 6
７　合格発表 13
８　問い合わせ先 13

Ⅲ　試験科目 14

Ⅳ　登録手続 23

１　登録手続 23
２　学費 24

Ⅴ　個人情報の取り扱いについて 24

Ⅰ　研究生概要

１　研究生について

東京音楽大学大学院音楽研究科修士課程研究生は東京音楽大学大学院学則第 39 条に基づき、特定の専門事項について研究することを目的とした制度です。なお、研究生の登録は正規学生の教育研究に支障のない範囲内で許可され、学位や単位は与えられません。

２　在籍期間

在籍期間は 1 年間です。ただし、継続して受講を希望する場合は、研究科委員会の許可を得て、年度ごとに期間を更新することができます。

３　受講可能な科目

<table>
<tr><th colspan="2">受講科目</th><th colspan="2">指導時間</th></tr>
<tr><td>必須</td><td>個人指導 1 科目
（実技または論文）</td><td>60 分</td><td>年間 30 回</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選択</td><td>個人指導 1 科目
（実技または論文※）</td><td>30 分</td><td>年間 30 回</td></tr>
<tr><td>授業聴講
（各学期 6 科目まで受講可）</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

※　論文の受講を希望する方は、2 月 20 日（土）～2 月 22 日（月）に実施される入学試験を受験してください。（課題は「Ⅲ　試験科目」の『論文作成』をご確認ください）

４　担当教員

大学院修士課程担当教員については、以下のリンクよりご確認ください。

https://www.tokyo-ondai.ac.jp/about/teacher

Ⅱ　試験概要

１　募集人員

種別	専攻	研究領域	募集人員
研究生	器楽	鍵盤楽器	各専攻とも若干名
		弦楽器	
		管打楽器	
	声楽	独唱	
	作曲指揮	作曲※	
		指揮	
	音楽文化研究	音楽教育	
		音楽学	
		ソルフェージュ	
		多文化音楽	
		吹奏楽	

※　作曲研究領域については、出願時に現代に求められる創造的で多様な芸術創作、そのための先端的なテクノロジーの追求を主軸とする「芸術研究」か、芸術音楽を背景としながら、映像との協同や舞台・ゲーム音楽など、マルチメディアを含む多様な音楽表現を追求する「応用研究」のいずれかを選択してください。

２　出願資格

⑴　一般志願者

次の①～⑨のいずれかに該当し、かつ⑩の条件に該当する者

① 日本国内において、大学を卒業した者および 2027 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者

② 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者および 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者および 2027 年 3 月 31 日までに修了見込の者

④ 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者および 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

⑤ 日本国内において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者および 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

⑥ 外国の大学において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

⑦ 指定された専修学校の専門課程を修了した者および 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

⑧ 文部科学大臣の指定した者

⑨ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者

⑩ 日本国籍もしくは出願時、2028 年 3 月 31 日まで長期滞在可能な在留資格を有する外国籍の者

※①～⑩に加え、外国籍を有する者は、以下⑪に該当していること（「永住者」を除く）。

⑪ 出願時に日本語能力試験（JLPT）N2 以上に合格している者、または、日本留学試験(EJU)「日本語」（読解、聴解および聴読解のみ。記述を除く）で 200 点以上を取得している者。なお、音楽文化研究専攻音楽教育研究領域および音楽学研究領域志願者は出願時に日本語能力試験（JLPT）N1 に合格している者、または、日本留学試験(EJU)「日本語」（読解、聴解および聴読解）で 280 点以上および「日本語（記述)」35 点以上を取得している者。

※ ⑨の出願資格で出願を希望する場合、事前に出願資格審査を行います。2026 年 11 月 14 日(土)までに所定の申請書をご提出ください。

※ 本学の研究生は「留学」の在留資格を取得することはできません。ただし、本学以外の教育機関等で「留学」の在留資格を取得している場合は出願可能です。なお、当該教育機関にて本学の研究生との二重学籍が認められるかどうかは当該教育機関にお尋ねください。

⑵ 内部進学者

本学の学部または大学院を 2027 年 3 月 31 日までに卒業または修了見込みの者で、在学中の成績をもって本学研究生入学試験の選考に代える者

ただし、以下のいずれかに該当する場合は、⑴一般志願者で出願しください。

① 在学中の専攻等と異なる研究領域・楽器等の受講を希望する場合。 ※ ただし、学部 4 年生が多文化音楽研究領域を受講希望する場合、専攻にかかわらず、在学中の成績により審査します。 ② 学部 4 年生が下記のいずれかの受講を希望する場合。 ・鍵盤楽器研究領域（伴奏） ・ソルフェージュ研究領域 ③ 音楽文化教育専攻の学部 4 年生が大学院修士課程研究生に出願する場合。

※ 本学の研究生として「留学」の在留資格を取得希望の方は、別冊「外国人研究生募集要項」に従って出願してください。

※ 本学の学部または大学院を過年度に卒業・修了した日本国籍の方は、⑴一般志願者で出願してください。

※ 本学の学部または大学院を過年度に卒業・修了した外国籍の方は、事前にお問い合わせください。

3　日程一覧

検定料　20,000 円

試験日程

- チェンバロ、オルガン志願者は、試験期間中に事前練習を行います。
- 打楽器志願者は、入試期間中に楽器選定および事前練習を行います。
- 日程の詳細は、試験初日の 3 日前までに、メールで送信する案内を参照してください。試験日時・会場に関する電話やメールでのお問合せはご遠慮ください。なお、期日を過ぎてもメールが届かない場合のみ、迷惑メールフォルダをご確認の上、入試課までご連絡ください。

	⑴一般志願者	⑵内部進学者
出願期間	2027 年 1 月 6 日（水）～1 月 18 日（月）（消印有効）	
試験期間※1 （実技試験・面接）	2027 年 2 月 20 日（土）～ 2 月 22 日（月）	
合格発表※2	2027 年 2 月 26 日（金）15：00～ 2 月 28 日（日）17：00 （Web 出願サイト発表）	2027 年 2 月 12 日（金）15：00～ 2 月 28 日（日）17：00 （UNIPA 掲示配信）
登録手続期間	2027 年 2 月 27 日（土）～3 月 5 日（金）（消印有効）	

※1　試験日程は出願状況により決定します。
一部の試験を 2 月 17 日（水）～2 月 19 日（金）に実施する場合があります（チェンバロ、オルガン、指揮、吹奏楽等）。

※2　合否に関するお問い合わせはご遠慮ください。

4　試験場

東京音楽大学

中目黒・代官山キャンパス	〒153-8622　東京都目黒区上目黒 1-9-1
池袋キャンパス	〒171-8540　東京都豊島区南池袋 3-4-5

※ 試験場には必ず受験票（共演者、伴奏者、譜めくりは受験票のコピー）を持参し、守衛室に提示して入構してください。

5　選抜方法

⑴　一般志願者

受講内容に応じて「専攻別課題表」に記載の実技試験等（実技試験、作品審査、論文審査、小論文、口述試問）、面接および出身大学の成績証明書等の各資料を総合して判定します。

※　本学教員による推薦がある場合には、実技試験等および面接が免除になる場合があります。

⑵　内部進学者

本学学部または大学院の在学生が大学院修士課程研究生に出願する場合は、「専攻別課題表」に記載の実技試験等を免除し、在学中の成績により審査します。

選択の個人指導で論文を希望する場合は、2027 年 2 月 20 日（土）～　2 月 22 日（月）に「論文作成」のみ入試を受けていただく必要があります。

＜注意事項＞

・留年等の理由で過年度に卒業試験を受験している場合は、過年度の卒業試験の成績で審査します。

・在学中の専攻と異なる研究領域・楽器等の受講を希望する場合は、⑴一般志願者で出願し入学試験を受験してください。

＜受験上・修学上の配慮を希望する志願者について＞

疾病や障がいなどにより受験時や入学後の修学において特別な配慮が必要な場合、個別の状況に応じて必要かつ合理的な配慮を検討し、適切な支援を行っております。

合理的な配慮を希望される方は、URL もしくは QR コードより内容をご確認の上、申請を期日までに行ってください。

［URL］
https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/43807.php

［期日］2026 年 11 月 30 日（月）（必着）

＜学校保健法で出席の停止が求められている感染症に関する注意事項について＞

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス・インフルエンザ・はしか等）にかかり治癒していない場合、その感染症が他の受験者や試験監督者等に広がるおそれがありますので、入学試験を受験することはできません。また、試験当日の検温により発熱があった場合や、通常とは異なる体調不良があり感染症に罹患している可能性がある場合も、受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと判断した場合は、この限りではありません。

上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として、追試験等の特別措置および検定料の返還は行いません。試験当日の体調には十分に注意してください。

なお、感染状況等により事情が変わった場合には、改めてホームページ等でお知らせします。

６　出願手続

⑴ 出願の流れ

出願方法は Web 出願のみです。

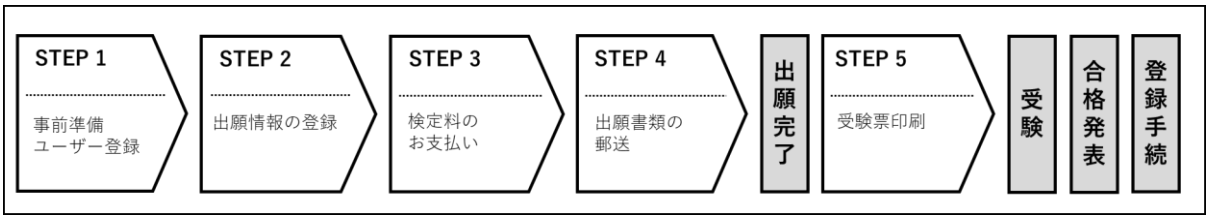
本学ホームページの「入試案内（大学院)」にある「出願ガイド」内の「出願情報の登録」より、下記の手順に沿って出願を行ってください。

出願ガイド

https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/

【⑴一般志願者】

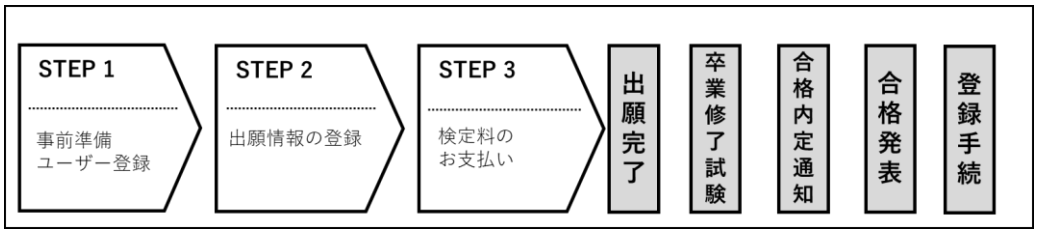
・　一般志願者は、STEP4 の「出願書類の郵送」まで終えて出願完了となります。



【⑵内部進学者】

・　内部進学者は STEP3「検定料のお支払い」までで出願完了となります。出願書類の郵送は不要です。

・　本学在学生であっても、学外者と同様入学試験を受験する方は、上記【⑴一般志願者】の方法で出願してください（論文の受講を希望する方を含む)。



STEP 1

① Web 出願にあたっての事前準備（詳しくは「出願ガイド」をご覧ください）

□ インターネットに接続しているパソコン・タブレット・スマートフォンのうち、いずれかの機器

□ メールアドレス

> 各キャリアのメールアドレスを使用する場合は、ドメイン「@contact. mescius.com」「@sbpayment.jp」「@tokyo-ondai.ac.jp」からのメール受信ができるように設定を行ってください。
> 入学試験用に新たに作成される場合はフリーアドレス(@yahoo.co.jp や@gmail.com 等)の取得を推奨します。

□ プリンター＊

□ PDF 表示・印刷ソフトウェア

□ 本人写真（カラー写真データ）

＊ 自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を利用してください。詳しい使用方法は「出願ガイド」の STEP1「事前準備」1.プリンター「印刷方法のご確認」を参照してください。

② 「出願ガイド」からユーザー登録を行う

同サイト内の「出願情報登録」の「Web 出願サイトはこちら」から Web サイトにアクセスし、「初めての方はこちら」からユーザー登録を行ってください。

※ 外国籍の方はパスポート、在留カードあるいは住民票に記載の氏名を姓（Family Name）名（First Name）の順に**アルファベット**で入力してください（**漢字は不可**）。ただし、在留カードあるいは住民票の氏名表記が漢字のみの場合は、漢字での入力も可能です。
フリガナについては、通常使用する読みをカタカナで入力してください。

※ 昨年度以前メールアドレス登録画面で「□来年度もこのメールアドレスを利用する」のチェックを入れた方は再登録不要です。以前登録したメールアドレスとパスワードでログインしてください。

③ 出願書類を確認・準備する

募集要項に記載されている出願に必要な書類を確認・準備してください。

STEP 2

「出願ガイド」から Web 出願サイトにログインし、出願登録を行う

募集要項、「出願ガイド」を確認してから、同サイト内の「Web 出願サイトはこちら」にアクセスし、STEP1 で登録を行ったメールアドレスとパスワードでログイン後、「出願」から出願登録を行ってください。

（「出願ガイド」：https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/）

STEP 3

検定料のお支払い

「コンビニエンスストア」、「クレジットカード」、「Pay-easy」で期限までに検定料をお支払いください。

※ 検定料のほかに支払手数料が必要です。

※ 下記の STEP からは(1)一般志願者向けの案内となります。

STEP 4

出願書類の印刷・記入および出願書類郵送

① Web 出願サイトから志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずに A4 サイズで印刷してください。

② 本学ホームページ「入学案内（大学院)」の「出願書類ダウンロード」から、受験する入学試験の必要書類を印刷・記入してください。提出前に必ず「出願書類チェックリスト」を使用して、出願書類がすべて揃っているか確認し、他の書類と一緒に提出してください。
（出願書類ダウンロード：https://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/exam）

③ レターパックライトを使用して、表面に①で印刷した宛名ラベルを貼り、出願書類を郵送してください。レターパックライトはポスト投函できますが、出願期限最終日に郵送する場合は、郵便局の窓口に出すことを推奨します。

郵送をもって出願完了となります。

※海外から日本への郵便到着に不安がある方は、事前に提出書類の PDF をメール添付やファイル送信サービスにて本募集要項最終ページ記載の「問い合わせ先」のメールアドレスに送付することができます。ただし、PDF のメール送付だけでは、出願受付はできませんので必ず出願期間内に郵送してください。

STEP 5

受験票の印刷

東京音楽大学から「受験票印刷のお知らせメール」※が届いたら、受験票の記載事項が志願票に入力した内容と一致しているか確認し、メールの案内に従って「受験票」を印刷してください。
一般志願者の試験日程詳細は別途メールにて送信します。内容をご確認の上、試験会場にお越しください。

※ メールが届かない場合は、Web 出願サイトにログオンし「受験票印刷」から印刷してください。

⑵ 出願書類一覧

次頁の該当する書類を一括して、宛名ラベルを貼付の上「レターパックライト」で郵送してください。なお、書類は「A. Web 出願サイト」または「B. 出願書類ダウンロード」よりダウンロードして印刷してください。

（「出願ガイド」内「Web 出願サイト」はこちらからアクセス）
A. Web 出願サイト(ユーザー登録・出願情報の登録、志願票・宛名ラベル印刷)
https://lsg.mescius.com/tokyo-ondai/App/Account/login

B. 出願書類ダウンロード
https://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/exam

①出願書類 1～2 は前頁 A のURLから印刷してください。

	出願書類	対象	注意事項
1	志願票	全専攻	検定料支払い手続き完了後印刷してください（拡大・縮小せず A4 で印刷）。 ※カラー印刷してください。
2	宛名ラベル		日本国内から書類を発送する場合はレターパックに貼り付けてください（拡大・縮小せず A4 で印刷）。 ※カラー印刷してください。

②出願書類 3～9 は前頁 B の URL から研究生の様式を印刷してください。

	出願書類	対象	注意事項
3	履歴書	全専攻	高等学校以降の学歴と音楽修学歴を記入してください。音楽修学歴は師事した教師名および指導を受けた専攻、科目楽器等の名称を記入してください。
4	曲目記入票	器楽専攻、声楽専攻、指揮研究領域、ソルフェージュ研究領域、多文化音楽研究領、吹奏楽研究領域	受験曲目を記入してください。
5	楽器等使用一覧	管打楽器研究領域および吹奏楽研究領域の打楽器志願者	使用楽器を記入してください。
6	セッティング表		本人位置、楽器位置、ピアノ位置等を図示してください。
7	予備質問書(1)(2)	作曲研究領域、吹奏楽研究領域	質問の答えを記入してください。
8	研究計画書	音楽文化研究専攻	作成を予定している論文のテーマ、これまでの研究状況、これからの研究計画を本学所定の用紙に記入してください。
9	出願書類チェックリスト	全専攻	出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェック し、出願書類と共に提出してください。

③出願書類 10～16 は志願者本人が作成したもの、または大学等が発行したものを提出してください。

	出願書類	対象	注意事項
10	演奏する楽譜のコピー	管打楽器研究領域および吹奏楽研究領域の打楽器志願者	製本はせず、余白に受験番号と氏名を明記してください。
11	作品	作曲研究領域、ソルフェージュ研究領域	専攻別課題表を参照してください。
12	卒業(見込)証明書	全専攻	在籍していたすべての大学(学部、専攻科等)の証明書が必要です(コピー不可)。
13	成績証明書		
14	戸籍抄本	各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる志願者	改姓等により各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる場合、戸籍抄本を提出してください。
15	在留カードのコピーまたは住民票	外国籍志願者	※在留カードのコピーを提出する場合は，裏面に記載事項がなくても、必ず表・裏両面をA4サイズの用紙にコピーしてください。 ※住民票を提出する場合は，在留資格・在留期間・在留期間満了日の記載を含むもので，出願時の3か月以内に発行されたものを提出してください。 ※外国籍の一般選抜および社会人特別選抜志願者も提出してください。
16	日本語能力の証明書	外国籍志願者の該当者	日本語能力の証明書を提出してください。 ・日本語能力試験(JLPT)の場合:日本語能力試験N1 または N2 の「認定結果及び成績に関する証明書」の原本 ※「日本語能力認定書」の提出は必要ありません。 ※日本語能力試験合格証明書の発行が出願期間に間に合わない場合、合格したことがわかるもの(合格画面のスクリーンショット等)の画面を原本の代わりに印刷し、原本をいつまでに提出できるかメモに書いて貼付け、他の出願書類と一緒に郵送にて提出してください。原本は別 途郵送してください。 ・日本留学試験(EJU)の場合:受験票のコピー ※成績は、有効期間以内(試験日が過去 2 年以内)、かつ出 願期間最終日までに確認ができるものを有効とします。

【注意】

※ 外国語（英語を除く）で書かれた証明書や文書等がある場合、日本語訳または英語訳および公証書を添付してください。公証書は大使館等の公的な機関で発行されたものに限ります。証明書の提出方法等について「卒業証明書・成績証明書提出上の注意事項」をご参照ください。

※ 学位授与機構によって学位が授与された者は、卒業証明書および成績証明書と併せて学位授与証明書を提出してください。学位取得見込みの場合は学位授与申請受理証明書を提出してください。

※ 出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類や検定料等は返還しません。ただし、住所・氏名・電話番号・メールアドレスに変更があった場合は、速やかに入試課へご連絡ください。

※ 出願書類がすべて揃っていない場合、出願期間を過ぎたものは受け付けできませんので注意してください。

＜卒業証明書・成績証明書提出上の注意事項＞

①中国の教育機関を卒業した方

・中国教育部学歴認証センターまたは、中国教育部学歴認証センター日本代理機構（http://www.chsi.jp/）が発行する「学歴認証報告書（英文）」および「成績認証報告書（英文）」を提出してください。

・教育機関発行の証明書やその翻訳は出願書類として認められません。

・「学歴認証報告書」および「成績認証報告書」は、CHSI から直接「nyushi@tokyo-ondai.ac.jp」にメールで届くよう、手続きを行ってください。英文以外の認証報告書や、出願者本人が受領し、本学へ転送した認証書は無効とします。

・認証機関の発行の遅れによって提出が間に合わない場合でも出願が認められない可能性があります。発行まで１か月程度かかるため、時間に余裕をもって発行申請を行ってください。

・卒業見込みの方は、教育機関が発行する卒業見込み証明書および成績証明書を提出し、卒業後「学歴認証報告書」および「成績認証報告書」を提出してください。注意事項は「②中国以外の教育機関を卒業した方」と同様です。

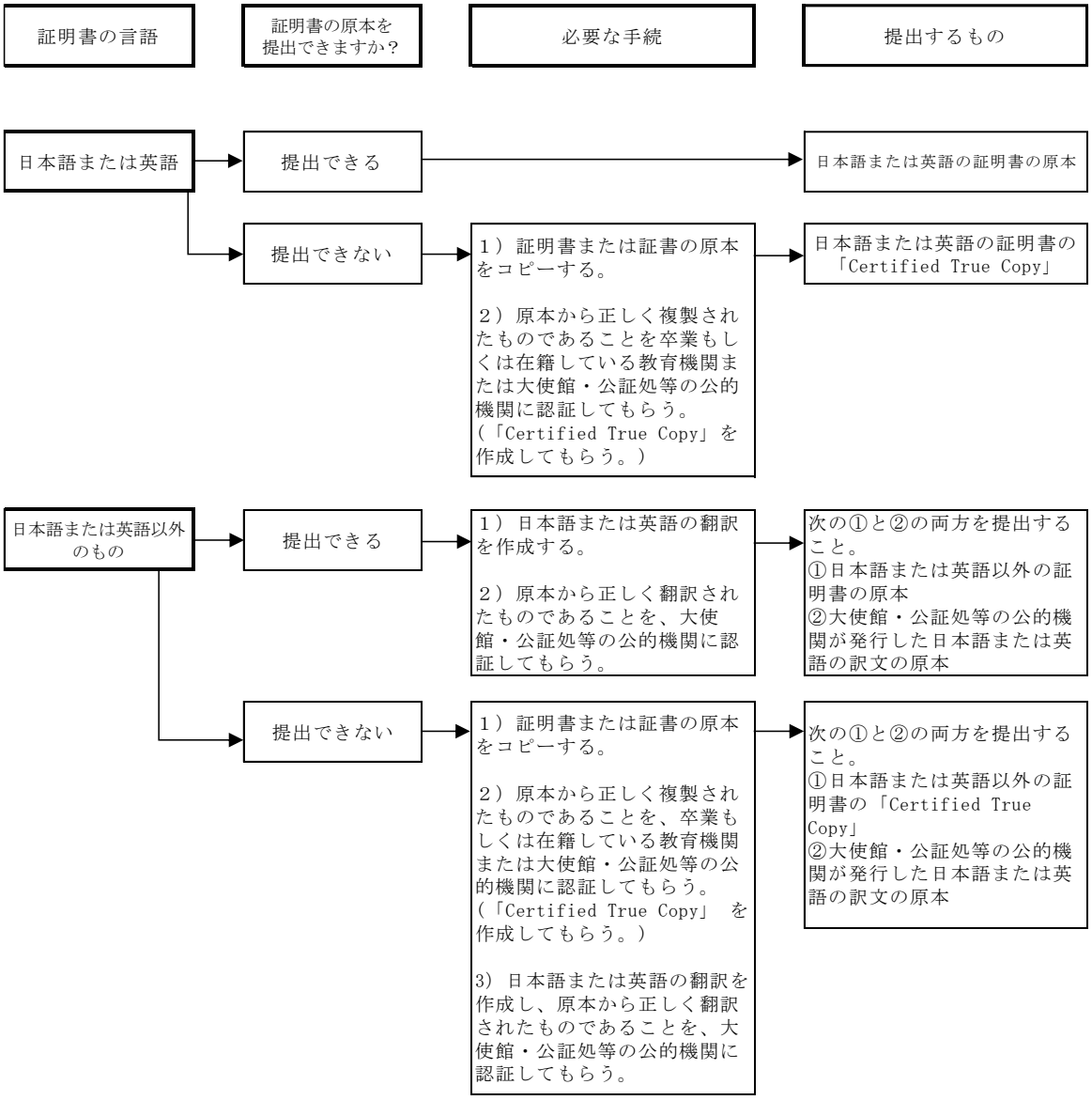
②中国の高等学校以外の教育機関を卒業した方

・卒業証明書、成績証明書等の証明書類は原本（卒業もしくは在籍している教育機関が発行し、証明した書類）、または教育機関・大使館・公証処等の公的機関より原本からの正しい複製であるという証明（Certified True Copy）を受けた書類を提出してください。

・日本語または英語以外の言語で記載された証明書は、大使館・公証処等の公的機関または、翻訳者としての資格を有する翻訳者による翻訳文を原本に添付してください。

・すべての提出書類の氏名・生年月日等はパスポートの記載と一致しているものを提出してください。

〔参考〕証明書の提出について



７　合格発表

⑴　一般志願者

合否は、2027 年 2 月 26 日（金）15：00～2 月 28 日（日）17：00 に Web 出願サイトにて発表します。

⑵　内部進学者

合否は、2027 年 2 月 12 日(金)15：00～2 月 28 日（日）17：00 に UNIPA にて発表します。

＜注意事項＞

・電話での問合せには応じません。合格者には、登録手続きに必要な書類を出願時に登録された住所宛に郵送します。

・登録した住所以外に郵送を希望する場合は、合格発表期間前に入試課へご連絡ください。

８　問い合わせ先

・入学試験および手続き等に関する問い合わせ先

【入試課】（中目黒・代官山キャンパス 1 階事務室）

受付時間： 9：00～17：00　（日・祝日除く）

直通電話： 03-6455-2754

・受講内容および入学後の流れ等に関する問い合わせ先

【教務課】（中目黒・代官山キャンパス 1 階事務室）

受付時間： 9：00～17：00　（日・祝日除く）

直通電話： 03-6455-2739

Ⅲ　試験科目

受講を希望する主たる専攻（楽器等）の試験を受験してください。
詳細は、専攻別課題表を参照のこと。

- **実技試験**：原則として、2027 年度大学院音楽研究科修士課程入学試験に準ずる。
  - ・出願後、受験曲や志望する専攻の変更は認めません。
  - ・共演者、伴奏者、譜めくりを必要とする場合は、志願者が同伴してください。伴奏はピアノ伴奏のみとします。
  - ※ 共演者、伴奏者および譜めくりは志願者の責任と負担で用意してください。
  - ※ 専攻別課題表に特に指示がない限り、ピアノ伴奏を必要とする編成の作品（編曲を含む）を、伴奏なしで演奏することはできません。必ず伴奏者を同伴してください。該当作品を伴奏者なしで演奏した場合はそれ以降の受験はできなくなり、受験済みの入試結果についても無効とします。また、検定料は返還しません。
  - ※ 同一のピアノ伴奏者や共演者が、複数の志願者を担当する場合、ピアノ伴奏者等が直前練習に立ち会えない可能性があります。
  - ※ 大学の指定する時間帯に受験してください。志願者やピアノ伴奏者または共演者の事情で試験順の調整はしません。
  - ※ 受験者、伴奏者、共演者いずれも、試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、タブレット、携帯音楽プレーヤー、ウェアラブル端末（腕時計型等）を身につけたり、作動させたりすることはできません。「入学者選抜試験における不正行為について」をご参照ください。
  - ※ 楽譜を使用する場合は、受験者、伴奏者、共演者いずれも、紙のものをご用意ください（電子楽譜は使用不可）。
- **面接**
- **小論文および口述試問**（専攻、受講希望科目による）

研究生　専攻別課題表

器楽専攻

<table>
<tr><td rowspan="3">鍵盤楽器</td><td>ピアノ</td><td>1. 次の(1)(2)のどちらかを選択すること。
(1)J.S. バッハ:平均律クラヴィーア曲集第Ⅰ・Ⅱ巻より任意の 1 曲
※ 当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。
(2)下記のエチュードより任意の 1 曲
ショパン、リスト、ラフマニノフ、ドビュッシー、スクリャービン、
バルトーク、ストラヴィンスキー、シマノフスキ、プロコフィエフ、
メシアン、リゲティ、カプースチン
2. バロック・古典・ロマン・近現代期より異なった 2 つ以上の時代から任意の 2 曲以上。楽章の抜粋可。
※ 1と2を合わせて、15 分以内にまとめ、暗譜で演奏すること。繰り返しは任意。
※ 1～2の順で演奏すること。
※ 楽章や曲目ごとの演奏時間を曲目記入票に明記すること。</td></tr>
<tr><td>チェンバロ</td><td>(1)W.バードまたは J. P.スウェーリンクによるファンタジア、または G.フレスコバルディのカプリッチョの中から 1 曲
(2)任意のプレリュード・ノン・ムジュレまたはトンボーを 1 曲
(3)J.S.バッハ:イギリス組曲 BWV 806-811 または パルティータ BWV 825-830 より任意の 1 曲(全楽章)
(4)5 分以内の自由曲(上記(1)-(3)で選択した作曲家以外の作品とする
(5)通奏低音 ※以下の a.または b.から志願者が選択する。
a. 以下の①または②の中から 1 曲選び、志願者が同伴する共演者とともに演奏する。
① G.F.ヘンデルの通奏低音付きソロソナタから 1 曲(全楽章)を上声楽器(フルートやヴァイオリンなど)との 2 重奏の形で演奏する。なお、共演楽器がフラウト・トラヴェルソ、バロックオーボエ、リコーダー、バロックヴァイオリンの場合にはピッチを a1＝415 とする。また、モダンのフルート、ヴァイオリン、オーボエとの場合には、a1=442 とする。
② C.モンテヴェルディまたは G.フレスコバルディの独唱と通奏低音のための作品(オペラの 1 場面を含む)5 分以内。声種は問わない(移調は自由)。ピッチは a1＝415 とする。
b. 当日課される数字つき低音課題を、1 分程度の予見ののちに(上声部奏者なしで)チェンバロで演奏する。
※ 楽器は二段鍵盤チェンバロ(音域 FF ～ f3、8’ 8” 4、a1=415)
※ 暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、受験者、共演者いずれも、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。</td></tr>
<tr><td>オルガン</td><td>1. 次の(1)(2)のどちらかを選択すること。
(1)J. S. バッハ:18 コラール集の以下の作品から任意の 1 曲
BWV 652, 653, 654, 659, 662, 663
(2)フランス古典音楽のクロモルヌ・アン・タイユもしくはティエルス・アン・タイユの任意の 1 曲
2. 次の(1)(2)のどちらかを選択すること。
(1) D. ブクステフーデ、N. ブルーンス、V. リューベックの大規模な Praeludium または Toccata(ペダル付)から任意の 1 曲
(2) J. S. バッハの以下の作品から任意の 1 曲
BWV 532, 535, 537～548, 550, 564, 566
3. ロマン派、現代のオルガン作品から任意の 1 曲
※ 試験当日以前にレジストレーションのための若干の練習時間を与える。
※ アシスタント同伴の場合は、Web 出願サイトの志願者情報入力画面に入力すること。
※ オルガンにはスウェル・ペダルおよびフリーコンビネーション装置はないので注意のこと。
※ 1～3のうち数曲を当日指定する。
※ 暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、受験者、共演者いずれも、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。</td></tr>
</table>

鍵盤楽器	伴奏	次の(1)(2)のどちらかを選択すること。 (1)次の AB 両方を演奏する。 A.　次の歌曲の中から1つを選択 ①シューベルト:ガニュメート　D 544 op.19 no.3 ②シューマン:『リーダークライス』　op.39 より no.3「森の対話」 ③ブラームス:便り　op.47 no.1 ④ヴォルフ:『アイヒェンドルフ歌曲集』より no.3「秘めた愛」 ⑤ R. シュトラウス:変わらぬもの　op.69 no.3 ⑥フォーレ:ネル　op.18 no.1 ⑦團伊玖磨:『わがうた』より「ひぐらし」 B.　次の①～③の中から 1 つを選択 ①モーツァルトのヴァイオリン・ソナタ K.454 または K.526(全楽章) ②ベートーヴェンまたは、ブラームスの任意のヴァイオリンまたは チェロ・ソナタ(全楽章) ③ブラームスの任意のクラリネット・ソナタ(全楽章) (ヴィオラとの共演でも可) (2)次の AB 両方を演奏する。 A.　次の①～③の中から1つを選択 ①モーツァルトのヴァイオリン・ソナタ K.454 または K.526 (第1楽章のみ) ②ベートーヴェンまたは、ブラームスの任意のヴァイオリンまたは チェロ・ソナタ(第1楽章のみ) ③ブラームスの任意のクラリネット・ソナタ(第1楽章のみ) (ヴィオラとの共演でも可) B.　次の①～④の中から1つを選択 ①ブラームス: ・もし私が帰り道を知っていたなら　op.63　no.8 ・愛の歌　op.71　no.5 ・甲斐なきセレナーデ　op.84　no.4 ・ぼくらはさまよい歩いた　op.96　no.2 ・セレナーデ　op.106 no.1 上記の歌曲(計5曲)を全曲演奏すること。順番は自由。 ② R. シュトラウス: ・セレナーデ　op.17　no.2 ・矢車菊　op.22　no.1 ・黄昏の中の夢　op.29　no.1 ・愛を抱いて　op.32　no.1 ・ばらのリボン　op.36　no.1 上記の歌曲(計5曲)を全曲演奏すること。順番は自由。 ③フォーレ:5つのヴェネツィアの歌　op.58(全曲) ④團伊玖磨:五つの断章(全曲) ※ 暗譜の必要なし。繰り返しは任意。 ※ 募集要項に記載された順で演奏すること。 ※ 楽章や曲目ごとの演奏時間を曲目記入票に明記すること。 ※ それぞれの課題に応じて、声楽、器楽の共演者を伴うこと。楽譜を使用する場合は、受験者、共演者いずれも、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。

弦楽器 ※繰り返しは任意 ※暗譜で演奏すること	ヴァイオリン	1. パガニーニ:カプリスより任意の 1 曲 2. J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタより任意のフーガ 3. 任意の協奏曲より第 1 楽章(カデンツァを含む) ※ 1～3を合わせて 30 分以内にまとめること。 ※ 1～3の順で演奏すること。 ※ 3については、ピアノ伴奏をつけること。伴奏者が楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。 ※ 伴奏については、前奏や間奏が長い場合には、適宜カット可。
	ヴィオラ	1. J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲または無伴奏ヴァイオリン・ソナタより任意の 1 曲 2. 任意の古典派協奏曲の第 1 楽章(カデンツァを含む) 3. 任意の近現代協奏曲の第 1 楽章 ※ 1～3を合わせて 30 分以内にまとめること。 ※ 1～3の順で演奏すること。 ※ 2、3については、ピアノ伴奏をつけること。伴奏者が楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。 ※ 伴奏については、前奏や間奏が長い場合には、適宜カット可。
	チェロ	1. ポッパー:40 の練習曲 op. 73 より任意の 1 曲 2. J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲より任意のプレリュード 3. 任意の協奏曲より第 1 楽章または最終楽章(カデンツァを含む) ※ 1～3を合わせて 30 分以内にまとめること。 ※ 1～3の順で演奏すること。 ※ 3 については、ピアノ伴奏をつけること。伴奏者が楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。 ※ 伴奏については、前奏や間奏が長い場合には、適宜カット可。
	コントラバス	ディッタースドルフ:コントラバス協奏曲 ホ長調 第 1 楽章(グルーバー版。カデンツァを含む) ※ ソロチューニング、オーケストラチューニングいずれも可。 ※ ピアノ伴奏をつけること。伴奏者が楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。 ※ 伴奏については、前奏や間奏が長い場合には、適宜カット可。
	ハープ	1. ヘンデル:ハープ協奏曲 変ロ長調 全楽章(グランジャニー版) 2. 以下より 1 曲、または同程度の難易度、演奏時間の自由曲 1 曲 ・サルツェード:古代様式による主題と変奏 ・グランジャニー:狂詩曲 ※ 1、2 の順で演奏すること。 ※ ピアノ伴奏なし。
	クラシックギター	1. J.S.バッハ:リュート組曲より任意のプレリュード 2. ヴィラ＝ロボス:エチュードより 1 曲 3. 任意のギター協奏曲より任意の 1 楽章 ※ 1～3 の順で演奏すること。 ※ 3 については、ピアノ伴奏をつけること。伴奏者が楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。 ※ 伴奏については、前奏や間奏が長い場合には、適宜カット可。

管打楽器	管楽器	20 分から 30 分程度の任意の独奏曲。時代様式の異なった複数の曲が望ましく、少なくとも 1 曲はピアノ伴奏付であること。 ※ 暗譜の必要なし。 ※ 曲目記入票に記載した順番で演奏すること。 ※ 当日、演奏箇所等について指定される場合がある。試験委員の指示に従って演奏すること。 ※ 楽譜を使用する場合は、受験者、伴奏者いずれも、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。 ※ 伴奏については、前奏や間奏が長い場合には、適宜カット可。
	打楽器	20 分から 30 分程度の任意の独奏曲。様式の異なった複数の曲が望ましく、1 曲はピアノ伴奏付であること。 ※ 暗譜の必要なし。 ※ 演奏する楽譜のコピー(製本はしないこと)、所定の楽器等使用一覧、セッティング表を出願時に提出のこと。 ※ 曲目記入票に記載した順番で演奏すること。 ※ 当日、演奏箇所等について指定される場合がある。試験委員の指示に従って演奏すること。 ※ 楽譜を使用する場合は、受験者、伴奏者いずれも、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。 ※ 伴奏については、前奏や間奏が長い場合には、適宜カット可。

声楽専攻

声　楽	独　唱	歌曲、オペラ、オラトリオより任意の 4 曲を提出し、うち 3 曲を以下の順で演奏する。 1. 任意の 4 曲のうち、1 曲を志願者が選択。 2. 上記1を除く 3 曲より、当日本学が 2 曲指定する。 ※ 演奏を途中で打ち切ることもある。 ※ 全体で 2 か国語以上の作品を用意すること。 ※ いずれも暗譜で演奏すること。 ※ ピアノ伴奏をつけること。伴奏者が楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。 ※ 伴奏については、前奏や間奏が長い場合には、適宜カット可。

作曲指揮専攻

作曲 「芸術研究」 または 「応用研究」 を選択	1．楽譜による作品提出(注) ①管弦楽曲 1 曲（独奏、独唱を伴う協奏的作品も可） ②室内楽曲 2 曲（うち 1 曲は独奏曲も可・声楽を含む作品も可） (注) ※出願期間内に①と②の両方の楽譜を以下の方法でデータおよび紙媒体で提出すること。 ・データは、PDF または JPEG（JPG）ファイルにて入試課宛てにメールにて提出。 提出期限：2027 年 1 月 18 日（月）17:00[厳守] 送信先：nyushi@tokyo-ondai.ac.jp 件名：受験番号＿氏名＿研究生作品提出 ファイル名：受験番号＿作品名 ・紙媒体は、持参または郵送にて入試課に提出（製本はしないこと。原譜の提出は認めない。原譜の鮮明な写し、またはコピーを提出すること）。郵送の場合は簡易書留等追跡できる送付方法とし、提出期日までの必着とする。 ※ ①②とも提出楽譜の大きさは A3までの印刷サイズとする。 ※ ①②とも 1 作品につき 800 字程度（日本語）の作品に関する解説を添付すること。 ※ 作品表紙、解説に受験番号、氏名および作品名を記入のこと。 (注)②の室内楽曲については「応用研究」を受験する場合、打ち込みを含む小編成の作品も可。その場合は、wav，mp3 等の互換性が高いオーディオファイルを USB メモリで提出すること。楽譜も必ず提出すること。 2．小論文（文字数 1200～2000 字、90 分） 3．口述試問 予備質問書に記入し、願書と共に提出のこと。
指揮	1．聴音（単旋律、複旋律および木管四重奏） 2．新曲視唱（各種音部記号による。ただし、メゾ・ソプラノ、バリトン記号を除く） 3．簡単な旋律のピアノ初見弾き歌い 4．スコアリーディング（2 管編成程度の管弦楽曲） 5．指揮実技（演奏は 2 台のピアノによる） a）初見曲 b）ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲 ※ｂ）は暗譜で演奏（指揮）すること。 6．演奏実技（ピアノを含む任意の楽器を演奏）※声楽を含まない ※ 暗譜の必要なし。ピアノ以外の楽器で演奏する場合、ピアノ伴奏なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。 7．和声（バス・ソプラノ課題[中級程度] 90 分） 8．小論文（課題は当日指定する。文字数自由、90 分） 9．口述試問

音楽文化研究専攻

音楽教育	1．筆記試験：音楽研究に関する小論文（課題は当日指定する。文字数自由、90 分） 2．口述試問（必要に応じて外国語能力に関する試問を行う場合がある。）
音楽学	1．筆記試験：音楽研究に関する小論文（課題は当日指定する。文字数自由、90 分） 2．口述試問（必要に応じて外国語能力に関する試問を行う場合がある。）
ソルフェージュ	1．ソルフェージュ実技試験 a）聴音（単旋律、複旋律、四声体和声） b）新曲視唱（各種音部記号による。ただしメゾ・ソプラノ、バリトン記号を除く） c）ピアノによる初見演奏 2．実技試験： 以下の①②のどちらかを選択すること。 ① 器楽または声楽（暗譜）：自由なプログラムによる 8 分以上 15 分以内の演奏（伴奏者が必要な場合は各自用意すること。出版されていない楽曲を演奏する場合は楽譜を提出すること）。志願者情報入力画面には演奏楽器名を入力のこと。 ※ 伴奏者が楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。 ② 楽譜による作品提出：任意の編成による作品 2 曲以上提出。 ※ 2027 年 1 月 18 日(月)17: 00 までに②の楽譜を以下の方法でデータおよび紙媒体で提出すること。 ・データはPDF ファイルにて入試課宛てにメールで提出。 送信先： nyushi@tokyo-ondai.ac.jp 件名：受験番号(Sol)＿氏名＿研究生作品提出 ファイル名：受験番号(Sol)＿作品名 ・紙媒体は、郵送にて入試課に提出（製本はしないこと。原譜の提出は認めない。原譜の鮮明な写し、またはコピーを提出すること）。郵送の場合は簡易書留等追跡できる送付方法とし、提出期日までの必着とする。 ※ 提出楽譜の大きさは A3までの印刷サイズとする。 ※ 作品表紙に受験番号、氏名および作品名を記入のこと。 3．ピアノ実技 上記2の①でピアノ演奏を選択しない者および②の該当者。 課題曲 J. S. バッハ 平均律クラヴィーア曲集第Ⅰ・Ⅱ巻より任意の 1 曲（前奏曲とフーガ） 4．口述試問 ※ 2の①、3は暗譜で演奏すること。
多文化音楽	1．実技試験 志願者情報入力画面には演奏実技名を入力してください。 次の実技のなかから、自由なプログラムによる 8 分以上 15 分以内の演奏。 アイヌ伝統音楽（トンコリ）、インド音楽（シタール）、インドネシア音楽（ジャワガムラン、ジャワ舞踊）、キルギス音楽（コムズ）、中国音楽（二胡、古箏、古琴、笛子）、邦楽（箏曲、尺八、三味線等）、モンゴル音楽（馬頭琴）。 ※ この他の実技については問い合わせのこと。 ※ 出願時に持参する楽器名と台数を明記すること。 ※ 暗譜で演奏すること。 ※ 電源を必要とする楽器や機器（パソコン、音量を増幅する機器等）の使用は認めない。 ※ 伴奏者が必要な場合は各自用意すること。原則ピアノ伴奏に限る。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。 ※ 伴奏については、前奏や間奏が長い場合は、適宜カット可。 2．口述試問

吹奏楽	1. 任意の管楽器・打楽器・コントラバス・ハープによる演奏 曲は、任意の独奏曲とする。複数曲の組み合わせも可で、全体で 15 分程度にまとめること。 ※ 暗譜の必要なし。繰り返しは任意。楽譜を使用する場合は、受験者、伴奏者いずれも、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。 ※ 伴奏については、前奏や間奏が長い場合には、適宜カット可。 ※ 打楽器で演奏する者は、演奏する楽譜のコピー(製本はしないこと)、所定の楽器等使用一覧、セッティング表を出願時に提出のこと。 2. 口述試問 予備質問書に記入し、願書と共に提出のこと。

論文作成

器 楽	1. 筆記試験:音楽研究に関する小論文(課題は当日指定する。文字数自由、90 分) 2. 口述試問
声 楽	
作曲指揮	

入学者選抜試験における不正行為について

※ 大学院音楽研究科の受験における不正行為についてもこの取扱いに準じます。

受験の際には、すべて試験監督の指示に従ってください。 以下に該当する場合、不正行為とみなされます。

1. 出願の際に本学に提出した書類・資料等に偽造、虚偽の記載、剽窃が見つかった場合
2. 受験者以外の者が、受験者本人になりすまして試験を受けた場合

また、以下の行為をすると、不正行為とみなされる場合があります。

- カンニング（カンニングペーパーや参考書、他の受験者の答案を見ること、他の受験者から答えを教わること等)をすること。
- 使用を認められていない用具を使用すること。
- 試験開始の合図の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
- 試験終了の合図の後に筆記用具や消しゴムを持ち続ける、または解答を続けること。
- 試験時間中に、他の受験者に答えを教えるなど、他の受験者を利する行為。
- 試験時間中に、他の受験者に迷惑となる行為。
- 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、タブレット、携帯音楽プレーヤー、 ウェアラブル端末（眼鏡型・腕時計型等）、イヤホン等を身につける、または作動させること。
- 試験期間中に、本学構内において入学者選抜試験に関する問題および解答用紙、試験室・控室等の会場、掲示物等を写真または動画で撮影する行為、またはそれらをＳＮＳ等インターネット上へ掲載する行為。
- 非対面式試験において、「同意書」に記載の内容に反する行為。
- 受験時の写真照合において、本人確認が困難となる程度の加工・修正を施した写真を用いて WEB 出願登録を行うこと。
- その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

試験実施中に不正行為と思われる行為が認められた場合、試験監督が注意し、試験の中止や退室を指示することがあります。不正行為の疑いに対処した時間があっても、その受験者は、試験時間の延長を求めることはできません。

不正行為と認められた場合、それ以降の受験はできなくなり、当該年度における本学のすべての入学試験の結果を無効とします。また、検定料は返還しません。

Ⅳ　登録手続

1　登録手続

登録手続の流れは以下の通りです。

⑴ 登録料・学費等の納入　→　⑵ 登録手続書類郵送　→　⑶ 登録許可

⑴　登録料・学費等の納入

2027 年 2 月 27 日（土）～3 月 5 日（金）までに登録料・学費等を一括納入するとともに、⑵の書類を簡易書留にて、入試課まで郵送してください。最終日の消印有効。

※ 登録料・学費等の納入期日は、必ず大学の口座に入金される日であること。

※ 上記の期間内に手続を完了しない者は、登録の意志がないものとして合格を取消します。

⑵　登録手続に必要な書類

① 誓約書・個人情報の取扱いに関する同意書（本学所定の用紙）

② 住民票または住民票記載事項証明書（3 か月以内のもの）

③ 卒業または修了証明書および成績証明書、学位授与証明書等（2027 年 3 月卒業または修了見込みの者は、卒業後提出）

④ 研究生証用写真（カラー、サイズ縦 4.5cm×横 3.5cm）

⑤ その他本学が提出を指示したもの

※ 詳細は登録手続書類に同封される案内をご確認ください。

※ 学士または修士の学位が得られなかった場合は、その旨をすみやかに教務課大学院担当にご連絡ください。

※ 外国籍の方で在籍期間中に長期滞在可能な在留資格を喪失した場合は、その旨をすみやかに教務課大学院担当にご連絡ください。

※ 提出された書類の記載事項に虚偽が判明した場合、合格または登録を取り消します。

⑶ 登録許可

手続き完了の者には、登録許可書を交付します。

⑷ 登録辞退

登録を辞退する場合は、2027 年 3 月 30（火）11：30 までに入試課に申し出てください。

なお、納入済みの登録料はいかなる理由があっても返還しません。

手続方法の詳細は、登録手続書類に同封される案内をご確認ください。

２　学費

登録料		130,000 円※1
施設等維持費		50,000 円
学費	個人指導 60 分（実技・論文）	544,000 円
	個人指導 30 分（実技・論文）	272,000 円
	授業聴講（1 単位あたり）	75,000 円※2

※1　本学出身者の登録料は 100,000 円とします。

※2　聴講する科目の単位数に乗じた学費となります。

学費および学費の取り扱いは、今後変更となる場合があります。

Ⅴ　個人情報の取り扱いについて

１　個人情報の取り扱いについて

① 本学は、志願者の出願書類に記載された個人情報および入学試験の成績を入学試験業務に利用します。なおこれらの個人情報は個人情報保護法に則り万全の体制で管理します。

② 本学は、上記の個人情報を大学入学者選抜および大学教育の改善のための調査・研究や学術研究の資料としても利用します。調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

③ 本学は、願書記載事項のコンピュータ登録業務、受験票、合格通知書、入学手続書類等の発送の業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託する場合があります。

２　個人情報の管理・保管について

本学は、志願者の方々から提供を受けた個人情報を学校法人東京音楽大学個人情報保護規程に従い、厳重な管理体制の下で管理・保管し、志願者の方々の個人情報が第三者に漏洩しないようにいたします。

東京音楽大学

【中目黒・代官山キャンパス】

〒153－8622　東京都目黒区上目黒 1－9－1

【池袋キャンパス】

〒171－8540　東京都豊島区南池袋 3－4－5

ホームページアドレス　https://www.tokyo-ondai.ac.jp/

問い合わせ先：　03－6455－2754（TEL）　日・祝日除く 9:00～17:00

03－6455－2774（FAX）

nyushi@tokyo-ondai.ac.jp（メール）

中目黒・代官山キャンパス

私　鉄　東急東横線「代官山駅」より徒歩約 5 分

東急東横線「中目黒駅」正面改札より徒歩約 5 分

地下鉄　日比谷線「中目黒駅」正面改札より徒歩約 5 分

Ｊ　Ｒ　「恵比寿駅」西口より徒歩約 14 分

池袋キャンパス

地下鉄　副都心線「雑司が谷駅」より徒歩約 5 分

丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」より徒歩約 15 分

有楽町線「東池袋駅」より徒歩約 15 分

Ｊ　Ｒ　「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩約 15 分

私　鉄　西武池袋線・東武東上線「池袋駅」より徒歩約 15 分

バ　ス　「南池袋一丁目」より徒歩約 3 分

都　電　都電荒川線「鬼子母神前停留場」より徒歩約 5 分

＜アクセス＞

https://www.tokyo-ondai.ac.jp/about/access

TCM

Tokyo College of Music Graduate School

東京音楽大学大学院